

北海道 公衆衛生学雑誌

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

Vol 29 No 1 2015

Hokkaido Journal of Public Health

Contents

第67回北海道公衆衛生学会プログラム

メインテーマ 地域包括ケア時代の公衆衛生

学会長 旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野 西 條 泰 明
会 期 平成27年11月21日(土)
会 場 旭川医科大学看護学科棟(旭川市緑が丘東2条1丁目1-1)

■教育講演

「慢性腎臓病への対応—健康診断から末期腎不全まで」

演 者 旭川医科大学内科学講座循環呼吸神経病態内科学分野 中 川 直 樹
座 長 旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野 西 條 泰 明

■シンポジウム

「地域包括ケア推進に向けた地域連携」

座 長 旭川市保健所 杉 澤 孝 久
旭川医科大学医学部看護学科 藤 井 智 子
シンポジスト 北海道保健福祉部高齢者支援局 高 橋 収
高齢者保健福祉課地域包括ケアグループ 小 山 聡
旭川リハビリテーション病院内科 田 端 一 基
旭川圭泉会病院 橋 本 いづみ
名寄市健康福祉部こども・高齢者支援室地域包括支援センター

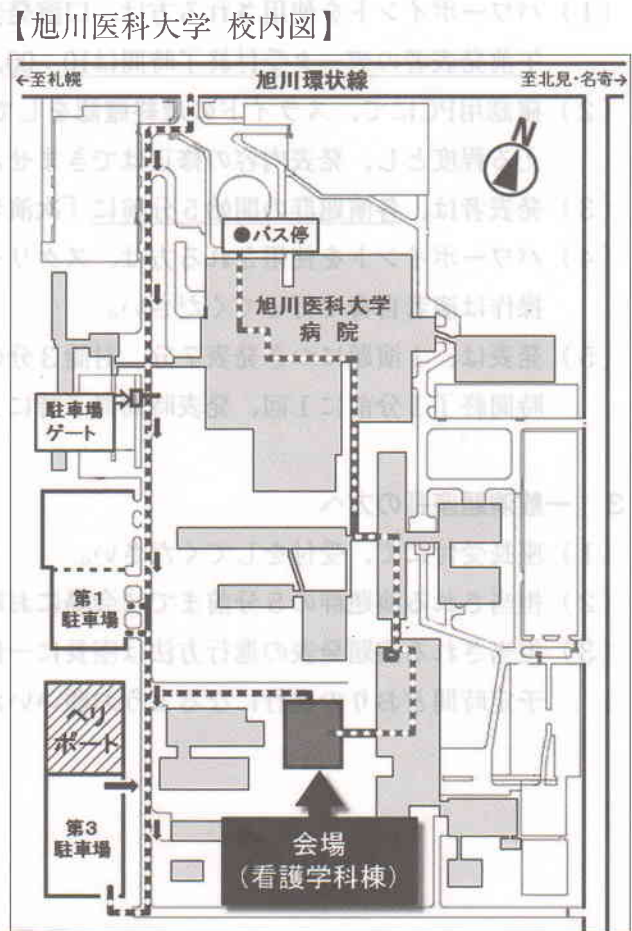
第67回 北海道公衆衛生学会

学 会 長 西條 泰明 旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野

会 期 平成27年11月21日(土)

学 会 会 場 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
第1会場:旭川医科大学看護学科棟1階 大講義室
第2会場:旭川医科大学看護学科棟2階 講義室D

会 場 案 内 図



会場までの交通機関

- バス：旭川電気軌道 (JR旭川駅より乗車)
 - () 内は乗車場所
 - 71系統 医大病院前 行 (旭川駅前)
 - 80系統 医大病院前 行 (1条7丁目)
 - 81系統 医大病院前 行 (1条7丁目)
 - ※乗車時間30～40分、終点下車
- タクシー 旭川駅より乗車約25分

●自家用車で来られる方へ

病院の入口を入ってからすぐに右折して突き当りのゲートまで進み、発券機より駐車チケットを受け取って入構し、「第1駐車場」または「第3駐車場」にて車を駐車させて下さい。指定場所以外では駐車をしないで下さい。駐車チケットは必ず会場までお持ちになり、学会受付で処理機によるチケットの検印を行って下さい (検印がないと有料扱いとなりますので学外へ出ることが出来ません)。

学会運営についてのお知らせ

＜参加受付、口演発表データ受付、座長受付ともすべてホール受付で行います＞

1 学会参加者の皆様へ

- (1) 事前申込をされた方：事前申込受付にて受付をしてください。受付の際に抄録集とネームカードをお渡ししますので、所属、氏名を記入の上、着用下さい。
- (2) 当日受付される方：当日受付にて、参加費（学会員3,000円、非学会員4,000円）を納めて下さい。引換えに抄録集とネームカードをお渡ししますので、所属、氏名を記入の上、着用下さい。
- (3) この会は、日本公衆衛生学会認定専門家地方公衆衛生学会となっております。

※会場内では、常に、ネームカードをつけてください。

2 一般演題発表者へ

- (1) パワーポイントを使用される方は、口演発表データ受付にて発表用データをお預かりします。
午前発表者のデータ受付終了時間は10:00、午後発表者のデータ受付終了時間は12:00です。
- (2) 確認用PCにて、スライドの最終確認をして下さい。修正が必要な場合は、画面上の体裁を整える程度とし、発表内容の修正はできませんのでご了承ください。
- (3) 発表者は、各演題群の開始5分前に「次演者席」に着席してください。
- (4) パワーポイントを使用される方は、スクリーンに表紙画面を表示させておきますので、以後の操作は演者自身で行ってください。
- (5) 発表は、1演題につき発表7分、討論3分の合計10分とします。発表時間の目安として、発表時間終了1分前に1回、発表時間終了時に2回、討論終了時に3回ベルが鳴ります。

3 一般演題座長の方へ

- (1) 座長受付にて、受付をしてください。
- (2) 担当される演題群の5分前までに会場にお越しになり、座長席にお座りください。
- (3) 担当される演題発表の進行方法は座長に一任します。1演題につき10分を目安に、全体として予定時間どおりの進行になるようお願いいたします。

第67回 北海道公衆衛生学会 日程

		ホール	第一会場 旭川医科大学看護学科棟 1階 大講義室	第二会場 旭川医科大学看護学科棟 2階 講義室D
11月21日(土)	午前	開場・受付 9:15~		
			開会式 9:45~9:50	
			地域保健 1 3題 産業保健 3題 9:50~10:50	環境保健 5題 10:00~ 11:50 10:50
			教育講演 11:00~12:00	
	昼			評議員会 12:00~12:30
			総会 12:30~13:00	
	午後		シンポジウム 13:10~14:40	
			地域保健 2 7題 14:50~16:00	親子保健・学校保健 6題 14:50~15:50
			介護・高齢者保健 4題 16:10~16:50	食品衛生・公衆栄養 3題 16:00~16:30
			閉会式 16:50~17:00	

教育講演

11:00～12:00 (看護学科棟1階 大講義室)

演題 「慢性腎臓病への対応—健康診断から末期腎不全まで」
演者 中川 直樹 (旭川医科大学内科学講座循環呼吸神経病態内科学分野)
座長 西條 泰明 (旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野)

シンポジウム

13:10～14:40 (看護学科棟1階 大講義室)

テーマ「地域包括ケア推進に向けた地域連携」

座長 杉澤 孝久 (旭川市保健所)
藤井 智子 (旭川医科大学医学部看護学科)

シンポジスト

「これからの高齢社会に向けた北海道の取組み」

高橋 収 (北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課地域包括ケアグループ)

「脳卒中連携パスの推進からの連携」

小山 聡 (旭川リハビリテーション病院内科)

「認知症医療疾患センターの立場からの地域連携」

田端 一基 (旭川圭泉会病院)

「地域の保健師の立場からの連携」

橋本いづみ (名寄市健康福祉部こども・高齢者支援室地域包括支援センター)

一 般 演 題

発表者のみを掲載しています。

午 前

午前：第1会場（看護学科棟1階 大講義室）

地域保健1 3題

9：50-10：20 座長：塩川 幸子（旭川医科大学医学部）

- 1 都市部の過疎化地区における住民ニーズ調査で大学生が学んだこと
- 旭川市西神楽地区の訪問調査を通して -
塩川 幸子（旭川医科大学医学部）
- 2 都市部の過疎化地区における住民ニーズ調査
- 健康と医療に関する問題点について -
伊藤 俊弘（旭川医科大学医学部）
- 3 札幌市の新任保健師による学習会を通じた学び
深川 周平（札幌市）

午前：第1会場（看護学科棟1階 大講義室）

産業保健 3題

10：20-10：50 座長：伊藤 俊弘（旭川医科大学医学部）

- 4 長時間労働と糖尿病発症の関連～シフト勤務別解析の結果から～
坂内 聖（北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野）
- 5 職場における喫煙対策実施状況に関する調査結果報告
小宅 千恵子（北海道中央労災病院治療就労両立支援センター）
- 6 労働者のソーシャル・キャピタルと精神的健康に関する研究の動向
後藤 理香（札幌市立大学大学院看護学研究科）

午前：第2会場（看護学科棟2階 講義室D）

環境保健 5題

10:00-10:50

座長：荒木 敦子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

7 妊娠初期における就労女性の有害物質の取扱いが児の流・死産に及ぼす影響

小林 澄貴（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

8 胎児期ダイオキシン類曝露による臍帯血中性ホルモンへの影響：

環境と子供の健康北海道スタディ

宮下 ちひろ（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

9 胎児期ビスフェノールA曝露による臍帯血中のアディポカイン、出生体重、

子どもの体重への影響：北海道スタディ

湊屋 街子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

10 Effects of prenatal exposure to perfluoroalkyl acids on risk of allergic diseases

at 4 years old children : The Hokkaido Study

Houman Goudarzi（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

11 2015年の道内6都市における空中花粉飛散状況調査

武内 伸治（北海道立衛生研究所）

午 後

午後：第1会場（看護学科棟1階 大講義室）

開会時間 10:00-10:10

地域保健2 7題

14:50-16:00 座長：廣田 洋子（北海道立心身障害者総合相談所）

- 12 安平町のかかりつけ医と救急医療に対する地域差の調査研究
若松 淳（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）
- 13 北海道の二次医療圏を単位とした死亡、栄養摂取状況の地域差の実態とその関連の検討
岸 知子（北海道大学大学院医学研究科社会医学講座公衆衛生学分野）
- 14 道内の市町村保健センターの現状について
廣田 洋子（北海道立心身障害者総合相談所）
- 15 対策型胃がん検診の現状と課題—北海道対がん協会の13年間の胃がん検診成績から—
黒蔵 邦夫（北海道対がん協会）
- 16 自衛隊衛生科隊員による現場でのマダニ刺咬症患者対処の実態
小島 令嗣（自衛隊札幌病院、北海道大学）
- 17 平成25年度、26年度国民健康・栄養調査札幌市分調査結果
竹腰 恵（札幌市保健所）
- 18 北海道のエコチル調査の集計結果：
生後2歳までの食物アレルギーの頻度および食品の摂食状況について
アイツバマイ ゆふ（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

午後：第1会場（看護学科棟1階 大講義室）（口室為前 講S科科学題答）謝会S席：野子

介護・高齢者保健 4題

16:10-16:50

座長：高橋 恭子（小樽商科大学保健管理センター）

謝会S席：野子

謝会S席：野子

謝会S席：野子

19 介護保険の延命効果と健康づくりの重要性-利尻富士町の要介護認定後の経過から-

和田 聖一（稚内保健所）

20 地域で生活する高齢者の閉じこもりに関する文献レビュー

原田 圭子（札幌市立大学大学院 看護学研究科博士前期課程）

21 札幌市南区における要介護原因疾病の分析

高橋 恭子（小樽商科大学保健管理センター）

22 口腔アセスメントから訪問歯科診療につなぐシステムの構築について

日野 小百合（北海道室蘭保健所）

午後：第2会場（看護学科棟2階 講義室D）

親子保健・学校保健 6題

14:50-15:50

座長：伊東 則彦（根室・中標津保健所）

- 23 エコチル調査北海道ユニットセンター旭川サブユニット参加者における母体基本属性
および周産期転帰と、その全国データとの比較
川西 康之（旭川医科大学医学部）
- 24 幼児の足の形態的発育について
小橋 明子（札幌大谷大学）
- 25 医療福祉系高等教育機関に所属する学生のひきこもり親和性とその関連要因
—過去の学校での経験に焦点を当てて—
米田 政葉（北海道医療大学大学院看護福祉学研究科）
- 26 平成26年根室市民妊産婦における出産動向等—産科病院へ123km—
伊東 則彦（根室・中標津保健所）
- 27 新たな母子保健の課題を探る 第9報：食事の困りごとは幼児の健康課題：1歳6健時
和田 聖一（稚内保健所）
- 28 新たな母子保健の課題を探る 第10報：食事の困りごとは幼児の健康課題（3健時）
和田 聖一（稚内保健所）

午後：第2会場（看護学科棟2階 講義室D）

食品衛生・公衆栄養 3題

16:00-16:30 座長：小林 智（北海道立衛生研究所）

- 29 道内における毒草による食中毒防止の取り組み（第3報）
—2014年道内で発生した植物性自然毒による食中毒2事例について—
藤本 啓（北海道立衛生研究所）
- 30 LC-MS/MSを用いた食品中の残留農薬分析法の検討と実態調査
—活用資源の現状に関する看護職への聞き取り調査から—
橋本 諭（北海道立衛生研究所）
- 31 市販牛乳からみた福島第一原発事故の北海道への影響
青柳 直樹（北海道立衛生研究所）

第67回 北海道公衆衛生学会運営役員

学 会 長	旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野	教 授	西 條 泰 明
副 会 長	旭川医科大学健康科学講座人間環境保健学分野	教 授	吉 田 貴 彦
副 会 長	旭川医科大学医学部看護学科	教 授	伊 藤 俊 弘
幹 事	北海道上川総合振興局保健環境部	部 長	岡 崎 弘 行
幹 事	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	医療参事	竹 内 徳 男
幹 事	旭 川 市 保 健 所	所 長	杉 澤 孝 久
幹 事	旭川医科大学医学部看護学科	教 授	藤 井 智 子
幹 事	旭川医科大学医学部看護学科	講 師	塩 川 幸 子
事 務 局			
事務局長	旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野	准 教 授	吉 岡 英 治
事務局員	旭川医科大学健康科学講座人間環境保健学分野	助 教	中 木 良 彦
事務局員	旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野	助 教	川 西 康 之
事務局員	旭 川 医 科 大 学 健 康 科 学 講 座	事 務 員	菊 池 めぐみ